

nasso は町づくりの道具

岩松町並み保存会 代表
企業組合いわまつ 代表理事 兵頭 肇 (宇和島市)



◆ なつかしい町並みを活用しての町づくり

活動を始め、十数年、気がつけばなつかしいのは町並みだけでなく関わっている人間までなつかしさが残っている。岩松町並み保存会、総勢なんとたったの5名そのうち岩松地区に暮らしている者はなんと2名、その中の1名が私なのです。

もう、息も絶え絶えといったところですが、しごとく町づくりに励んでいます。

なつかしい町並み地区は旧宇和島市内から車で15分南に位置する津島町にあります。その中心の岩松地区には江戸や明治期の歴史ある家屋や酒造場が多数残っています。明治期のころに建てられた西村酒造場には今では使われていない酒蔵と酒造りの道具が当時のまま残っていて、私達はその酒蔵を拠点に活動をしています。

酒蔵を活用するにはやはり本来の用途である酒造りの場として活用したいとの思いの中、「清酒はだめだけど、どぶろくならどんな少量からでも造

つていいよ」というどぶろく特区という制度を知ったのです。

◆ どぶろく“なつそ”誕生

それが今から8年前(平成19年)です。

この悪魔のささやきに導かれ



岩松

新たなメンバー3名を加え8名でどぶろく造りを始めました。残念ながら酒蔵での製造は諸条件が整わず、

ここでは断念して、ほど近い別の場所



酒蔵でのイベント

で酒造りを行います。

愛媛県も宇和島市も全面的にバックアップしてくれ、国が市をどぶろく特区地区に認定したことを皮切りに、県の「えひめ夢特区」1号に認定、企業組合いわまつ設立、どぶろく製造免許取得と、とんとん拍子に進みました。

どぶろくの名前は“なつそ”地元の方言で“なぜ”“なんぞ”というニュアンスで使います。そして、“なつそ”はどぶろくでは希な超辛口で、初めて呑んだ地元住民は思わず「なつそー！」と叫んでしまふのです。

造った当初は、「どぶろくとは甘口のものの」という皆さんの感覚から、「こんな辛いどぶろくは呑めたものでない」とほとんどの方には受け入れて頂けませんでした。

しかし、この辛さも一つの特徴、これを“ウリ”にしていこうと決めました。

ただ辛いだけではだめ、玄人好みのする吟醸香のするすっきり辛口を目指そうと決め、精米歩合を上げ、酵母には吟醸酒用酵母を使い、品質向上のための研究、それと出来上がってから早めにお



特区認定「どぶろく」 などの製造を通じた 地域おこし、交流拡大

新ラベルのnasso



客さまに呑んで頂けるための販売方法を模索しました。

今では全国のどぶろく愛好家からも高評価を得られるまでのレベルになることが出来まし

た。
今年からロゴを「なっそ」から

「nasso」に変更し、精米歩合もさらに上げ70%から60%にまで精白し、一段とパワーアップした「nasso」になりました。

◆nassoは町づくりの道具

「nassoは町づくりの道具」これ以上でもこれ以下でもありません。私たちに

とっては、酒造りもすべて町づくりに結びつくことです。
しかし、道具にするからには妥協を許さず品質のレベルを上げ、進化し続けるものでなくてはならないと思っています。

そしてnassoを使って人の輪を広げ楽しむことが重要だと考えています。

nassoを造ったおかげで新酒祭りのイベントも生まれましたし、保存会発足当時から開催していた岩松雛回廊（お雛

さまイベント）夏祭り前夜祭（ちようちん行列）さよなら夏休み（花火大会）酒蔵ギャラリー等にもnassoで華を添えることができています。

また、地元の女性グループやお菓子業者がnassoを使ったさまざまな商品を開発。道の駅などで販売しています。そして、nassoめあてのツアーも組まれ、毎年、「nassoとなつかしい町並み散策」に地区外からも多くのお客さんが岩松に来てくれるようになりました。

nassoは造り始めた時の目的からぶれることなく町づくりの道具として大活躍してくれています。

◆たかがどぶろく

何もかも手さぐりで始まったどぶろく造りですが私たちにとっては常に道具の一つ「たかがどぶろく」です。でも「されど、どぶろく、自分たちが好きで選んだ道具なのだから真剣に取り組もう」が純粋な今の気持ちです。いつまでたっても



岩松ひな回廊

清酒は造れないし、酒造りを生業として人生かけてる杜氏とは天と地ほどレベル差もあると思っています。

しかし、レベルはそんなに高くなくてもどぶろくの特徴を生かし清酒にない楽しみ方をこの岩松から発信し提供することが重要だと考えています。そんなことを試行錯誤しながら楽しんでいきます。

酒造りは素人に毛が生えた程度ですが、どぶろくを町づくりの道具として活用することには誰にも負けない気持ちです。かといって、どぶろく造りだけに打ち込む気持ちもありません。最重要問題はこの地区をどうするか、なのです。

町並み保存活動の中で、ほかにも正しい町づくりのための道具ができ、造ることが難しくなった時、周りが許してくれる環境さえ整えば私たちはすっぱり造るのをやめるでしょう。

私たちにとっては「たかがどぶろく」なんですから。

おっさん
ossanが造ったnassoを呑みに岩松に来てや！



nasso祭り